

令和6年度 第2回学校関係者評価委員会の実施及び改善策について(報告)

【実施日】令和7年1月21日(火) 9:45～11:00 【参加した評価委員数】7人

屋久島町立中央中学校

(欠席0人)

評価(委員記述) A(良い:課題なし) B(おおむね良い:課題有り) C(改善の必要有り:課題有り)

項目	番号	評価の観点	資料及び取組状況	評価 (1人未記入)	改善策
学校 評価 の 方 法	1	自己評価は学校教育目標を重点化した設定となっているか。	自己評価書資料	A 4人, B 3人	●保護者アンケート内容の見直しを図り,より適切なアンケートを実施する。 ●学校関係者評価の在り方について見直しを図り,欠席者がなくなるような事前準備を行う。 ●今回の評価結果の公表についてもホームページで公表する。
	2	自己評価は全校体制で定期的実施されているか。	各学期1回実施	A 5人, B 2人	
	3	自己評価の結果を踏まえた適切な改善が図られているか。	自己評価書資料 各学期学校経営案	A 3人, B 3人, C 1人	
	4	自己評価項目の内容・量は適切か。	自己評価諸資料	A 5人, B 2人	
	5	生徒・保護者へのアンケートは適切か。	生徒・保護者・教職員 アンケート	A 3人, B 4人	
	6	学校関係者評価の在り方は適切か。	年間2回	A 5人, B 2人	
	7	評価結果をわかりやすくかつ広く公表しているか。	HP, 学校便りで公表	A 6人, B 1人	
自由記述		<ul style="list-style-type: none"> 今後とも中高連携を深めていければと思います。 小が校でも家庭学習が課題に挙がる。保護者との連携が不可欠なので保護者にこうして欲しいということを分かりやすく全学年共通したものを掲示することも大切かもしれません。 「毎月第4土曜日の読書の日」を充実させることが大事かなと思いました。 			

意見交換内容

評価委員からの意見等	学校からの回答
1 屋久島高校への進学の実状はどうなっているか。少子化が心配である。地元の高校を盛り上げていきたい。	1 卒業生の6～7割が屋久島高校へ進学している。
2 区長会では子どものいない区があり,区長の学校行事への参加が心配である。	2 入学式や卒業式などの儀式的行事には校区内の区長には案内している。
3 進学希望する高校や学科によって全体を分けて,学習する内容に変えているか。	3 進学希望によって内容を変える学習はしていないが,個別の学習の相談については対応している。
4 屋久島高校では普通科,商業に関する情報ビジネス科が2クラスずつあるが,普通科の生徒数が厳しい状況。高校では1年生でタブレットの貸し出しをしているが,2年生からは各自購入を勧めている。中種子特別支援学校と連携し,特別支援教育ができる分室がある。	4 中学校では町から一人一台タブレット端末が準備されている。最近ではCBTによる鹿児島学力学習状況調査を実施しており,今後このような調査が推進されていく予定。
5 特別教育支援員について	5 今日英語の授業での支援を観ていただいたが,英語だけでなく様々な教科で生徒の学習の支援をしている。
6 いじめの把握の仕方はどのようにしているか。	6 アンケート,本人や保護者からの申し出等から把握している。事案に対して丁寧に対応していて,学校に来られる状況になるようにしている。
7 いじめから不登校になる生徒はいるか。学年が上がるにつれて人数が増えているがどうしてか。	7 いじめから不登校になる事例はない。小学校からの継続の生徒が多い。改善して登校できるようになった生徒もいる。今後は進路について考えさせて登校を促したい。
8 学校評価の提出率が低い。また,学年が上がるにつれて授業参観の出席率が低い。	8 グーグルフォーム等を利用して回答しやすい手立てに取り組んでいる。今後も回答率を上げるためにメール等で呼びかけていきたい。
9 学校評価第14項の評価が低いことは重要視して欲しい。	9 結果を真摯に受け止め,信頼される学校経営に努めていきたい
10 研究授業を7人の先生方が率先して実施していることを聞き,向上心をもたれた先生方が多くて素晴らしいと思う。	10 今後も校内研修を充実させていきたい。